

## 【問20】

人権問題について、県などに対しての御意見や御要望、あなたのお考えなどを御自由にお書きください。

寄せられた意見を、記述内容に応じて大きく下表のとおり分類し、それぞれの分野毎に特徴的な意見を掲載しました。

掲載に当たっては、文意を変えない範囲で原文の一部を変更しています。

また、ここに掲載されていない意見につきましても、今後の人権教育・啓発の推進に活かしてまいります。

1 人権全般に関すること	58件
2 女性に関すること	7件
3 子どもに関すること	19件
4 高齢者に関すること	7件
5 障がいのある人に関すること	6件
6 同和問題に関すること	18件
7 外国人に関すること	6件
8 性的マイノリティに関すること	6件
9 その他の問題に関すること	13件
10 教育・啓発に関すること	75件
11 行政施策に関すること	27件
12 意識調査への意見・感想	34件
13 その他（1～12に該当しないもの）	42件

### 1 人権全般に関すること

- ・ 人権について日頃意識することは少ないですが、今までの体験や知人の体験から思うことは「周りの人がどう行動するか」だと思ふ。過剰に反応する必要はないと思ふ。カミングアウトなどに対してゆっくりでも時間をかけて「受け入れる」ことが互いに気持ちにゆとりが出来る方法だと思ふ。  
SNSは、本人たちは見えているが、当事者以外に問題が見えづらい、発見しづらい。正しい使い方などを広めていくことが大切なのかなと思ふ。
- ・ 日々の情報量が個人の判断能力を越える速さと量で流れています。仕事等で忙殺される中、人が寛容の心を少し忘れてるように思ふ。ほんの少し寛容の心を持ってくれたら良くなると思ふ。
- ・ 相手の立場になり、話を聞くという事が大事だと思ふ。専門の方が少なすぎる様に思ふ。上辺だけしても何も変わらないと思ふ。周囲の人にも関心を持ってもらえるという方向性の工夫が必要だと思ふ。難しいものだとは思ふますが、一歩ずつクリアしていけたらいいなと思ふます。

- ・ 人権問題とひと言で言ってもむずかしいですね。差別の心は人間の心の中にあるもので。私は人を差別すると、自分もそんな目に合うかもしれないので気を付けています。
- ・ 人権問題、昔と違って今は様々な問題が生じている気がします。まず一人ひとりが正しい理解をすることが最も重要な事だと思いました。それと人の痛み（特にいじめとか虐待）がわかる人間になることも必要だと思います。
- ・ 何が「正解」か、難しい世の中だと思いますが、どんな人でも皆が自由で平等に過ごしやすい生きやすい様になれますよう祈ります。

## 2 女性に関すること

- ・ 基本的に男女平等という考えを子どもの時より教育し、男が優位にあるという古い考えを捨てる。すべての人は平等という考えを徹底する。特に九州男児は男女平等意識が低い気がする。
- ・ 世間的には大した事なくても、女性は負担が多い。まだまだ「女性がして当たり前」の意識が多い。家事など、もっと平等な社会となっていってもらわないと。育児や家事や仕事、介護、女性だけが頑張っていて悩み疲れている方が周囲にも多く感じます。もっと取り上げて男性方の女性に対する優しい県づくりを。
- ・ 家庭の中で、昭和時代の男の人を立てる文化が、まだ引き継がれている世代で、子どもたちへの家庭内の教育が難しいと感じる。男女の役割はそれぞれあって仕方ないと思うが難しい。例えば、コロナの給付金は、すべて夫の元に入り、私には全く入ってこなかった。こういう実態もあることを知ってほしい。
- ・ 「女性の人権」について、職場や社会が女性という理由で差別する体制であれば改善が必要だと思う。しかし、「女性の人権」に挙がっている項目は「女性として人権上問題がある」ということではなく、男女関係なく「人として人権上問題がある」と感じる項目がほとんどなので、選びようがなかった。  
今の時代、男性か女性か問わず、男性にもDV、セクハラ、ストーカー等の人権問題はある。女性ばかりを取り上げ、特別扱いするような見せ方は、良くない方向での刷り込みにつながる可能性もあり、いい加減古いと思う。  
逆に、女性の人権が尊重されすぎて、男性が生きづらい、男性にとっての人権問題につながるのではないかと危惧している。

## 3 子どもに関すること

- ・ 特に子どもの人権を守ってほしい。子どもは国の宝なので、子育てしやすい社会をつくってほしい。

- ・ 宮崎県はいじめの認知件数が全国で1位ということで、小・中・高でのいじめの早期発見に努めていることはとても素晴らしいと思いました。「いじめは絶対にやってはいけない」というような予防教育も大事ですが、同時にいじめに遭った場合の学校便りなどの対処法、解決法を開示しておくことで、相談しやすい体制を作ることができ、いじめの相談を躊躇するような心理的障壁の軽減にもつなげることができると思いました。これは学校だけでなく職場にも通じることだと思います。
- ・ 親の経済状況で子どもの進路が限定されてしまうことが、とても問題だと思っています。教育費がかかりすぎるため、少子化も解決しないのだと思います。教育費がかかれば子どもをもっと欲しいという人が、周りにもたくさんいます。誰でも好きな高校や大学などを選択できるようになってほしいと思います。
- ・ 子どもの人権について「自分が自分であってよい」という自己肯定感を育む教育がもっとあってよいと思います。
- ・ 様々な人権問題があり、対応に苦慮されると思いますが、子どもに対する人権問題は早急に対応、対策に取り組んで頂きたいと切にお願いします。(特に虐待、ネグレクトに関しては、命に関わる問題ですので、特に力を入れて取り組んで頂きたいと思います。)

#### 4 高齢者に関すること

- ・ 高齢者や障がい者に優しく住みやすく働きやすいものにしてもらいたい。家族についてのサポート等の情報にもしっかりとしてほしい。
- ・ 高齢者を尊重する思いが、今の若い世代の人には、少し足りない気がする。

#### 5 障がいのある人に関すること

- ・ 道路の段差や傾斜等の整備をお願いしたい。車椅子を上手く使えません。関係者の方に一度車椅子を使って体験していただくと良く分かると思いながら過ごしています。
- ・ 障がいを持つ身として最近時に感じるのが、何処に行っても障がい者用の駐車スペース確保が足りてないと感じます。特にコンビニでは駐車スペースが1台分しか無く、その1台分のスペースにも若者や健常者が平気で駐車しているケースが散見されます。自分さえ良ければ他人の事など、どうで良いという考えを持った人がこういった行動をするのだと思います。誰もが年を重ねれば必ず高齢者となり、いつ何時自分が障がいを持つ体になるかもしれません。もう少し社会的弱者と言われる高齢者や障がい者に対する思いやりの気持ち、モラルを守った行動や言動が出来る社会になることを強く望みます。

## 6 同和問題に関すること

- ・ 昔からある問題なので簡単に解決できないと思います。当事者の方も表沙汰にできない人も多いと思いますので理解を得ながら、少しずつ解決に向けて運動したらいいと思います。
- ・ 人権についてはこのような形で問題にすることが問題ではないでしょうか。同和問題など昔のことで、今は何の問題もないのに、このように人権として話題となれば、自分の地域ではどこだろうと興味を持ったり学習したりして、差別的な考えを持つこともあるのではないのでしょうか。  
人権ではなくお互いを尊重する社会性が必要だと思います。
- ・ 10代は、同和問題について知っている者があまり多くないように思われます。学校など身近な場所での講演会を開くことで若い世代への認識を高め、正しい知識を広めていくことが大切だと感じました。
- ・ 同和問題を身近に感じたことはないが、子の結婚に関する設問には考えさせられた。結婚した子は違う世帯になるので積極的支援は敢えてはしないと思うが、相談に乗るなど心の支えにはなりたいと思う。  
人権問題の改善には、どの生命も大切に扱われなければならない、という子どもの頃からの教育が最重要だと考えます。

## 7 外国人に関すること

- ・ 外国人の方（日本語のわからない人）の子ども、保護者に対してのフォローができていないと思う（保育園、幼稚園）。  
ある例で言うと、日本語のわからない母子に市からのアドバイスはとにかく日本語での一点張りだったという事。特に子どもに対しては英語ではなく日本語で対応する事。この点に対しては物事への理解をすることが最優先なのではと疑問だらけです。様々な環境背景で言葉の壁へのサポートをしてあげないといけないのではと思います。
- ・ 外国人労働者への悪徳雇用（賃金のピンハネ、長時間労働、危険な仕事）のニュースに接するたびに、心を痛めています。

## 8 性的マイノリティに関すること

- ・ 2年前くらいにテレビで知ったのですが、宮崎市のパートナーシップ宣誓制度はとても素晴らしい制度だと思います。これからの人生を共に歩んで生きたいと思えるパートナーと出会ったときに、「同性だから夫婦と認められない」なんてとても残酷です。  
こういった問題を提起している番組や投稿を見ると、「法律上の男女の夫婦と何ら変わりはないのだから、同性の夫婦も法律が認めてあげるべきなのでは？」

と日頃から思っています。同性同士だからといって男女の夫婦と比べ、私生活が極端に違うわけではないからです。好きな人と結婚して幸せな家庭を築きたいという気持ちは、相手が男であれ女であれ誰であれ、自分と同じ性であったとしても、みんなが同じことを考えると思います。

いまの日本が同性婚を認めていないのはとても残念で、先進国として大変遅れているなど感じます。パートナーシップ宣誓制度があれば、少しでも「夫婦」として自分たちを扱ってくれるのだとしたらとても喜ばしいことだと思います。

私の子どもたちが大人になり、誰かのことを愛せるようになったときに、相手が同性だからといって愛することを諦めて欲しくないなど、常日頃から考えて生きています。宮崎市の取り組みが、もっと県内に広がって欲しいですね。そして多様性が受け入れられる社会になってくれたら嬉しいです。

- ・ LGBTQに関して、外出先ではトイレに困ります。また、病院等では名前で呼ばれるより番号等で呼ぶなど統一されて欲しいです。

## 9 その他の問題に関すること

- ・ 職場では人権のアンケートを毎月記入報告、聞き取りなどを行っています。しかしそれをまとめる上司にパワハラを受けていたため、アンケートにパワハラ行為を記入する事はありませんでした。呼び出されて対面でパワハラを受けるのはとても恐ろしいです。

パワハラを行っている本人は全く気付いていないと思います。人権問題は何をやっても容易になくなるものではないと思います。

- ・ 私に直接ではないが、職場で「家庭があればけど、独身だから頑張っただけだった」と言われた。言った本人は当然のことを言っているようであったが、ショックだったことがある。人によって物事の捉え方が違うことは分かっているつもりだが自分の言動で嫌な思いをすることが無いよう、勉強が必要だと思う。しかし、何から手をつければ良いか分からない。

## 10 教育・啓発に関すること

- ・ 人権を尊重し、様々な差別に真剣に向き合う人が増えてきたと感じる一方で自分のことしか考えられない人が増えているのも事実。自分がその対象または関係者であったならどう思い、感じるのかと想像できる力が必要になると思う。これから産まれてくるであろう子どもの親になりうる世代や今の子ども達への人権教育の徹底を希望します。

- ・ 人間は深く考えずに、差別的発言をしてしまうものではないかと思いますが、やはりそんな発言を聞くと不快に感じます。今の時代、思っていることを相手がどのように受け取るのかという、思いやりの心を持てるような教育を取り入れていくように考えた方が良くはないでしょうか。

- ・ 人権と聞くと難しく、身構えてしまう自分がいます。堅苦しい啓発活動ではなく、簡単な言葉で、小学生でもわかるような文章で人権活動を行うことで、寛容な社会になればと思います。
- ・ 人権問題などもっとメディアで取り扱うべきだ。例えばドラマ化して家族みんなで見られるような。具体的なイメージにできるようにしてほしい。人権問題と言っても漠然としていて理解しにくい。
- ・ 多様な人権を今後尊重していくべきであると考えている。啓発のために、絵画やエッセイコンクールは有効だと考える。当事者の心中を表現した作品は興味深いし、また、小中学生への課題作品としても学校における人権教育の一貫になり、子どもたちは形として残すことで、今後の人生の中でも人権への意識を持ち続けるだろうと思う。
- ・ 大人になると差別が良い事とは思わなくても差別意識で見たり考えたりしてしまう。子どもの内に人権に関する映画や、当事者や識者に現状や問題を話してもらって、子どもが意識が変わっていくのではないかと、そう願ってほしい。
- ・ 人権問題は、誰もが知っているようで知らないと思います。日常生活の中で目や心にとどまる機会が増えると少しずつ広まっていくと思います。まずは、その問題にふれる場所があればいいと思いました。
- ・ 人権侵害、こんな言葉を聞くことのあまりなかった世代です。最近マスコミ等で頻繁に見聞きするようになりました。最初は学校での「体罰」悪いことをすれば当たり前、「パワハラ」上司が叱るのは当たり前と、何だか不思議だと思っていました。「人権」言葉では知っていても中身を知らなかったからです。

幼い頃から家庭で、学校で、大人がきちんと正しく教えていくことが絶対に必要なのではないでしょうか。
- ・ 最近ではTV、ラジオ、新聞、ネット等で人権について視聴する機会が増えてきたと思う。実際いじめや人権差別で悩んでいる子どもや大人はまだまだ沢山いると思うので、地域・学校等で色々な機会を通して「人権問題」について広めてほしい。

「やりすぎる」ことはないと思うので「どんな小さな事」でもしっかり受け止めて実践してほしいと思います。私自身も偏見・差別を少しでもなくす様心掛けたいと思う。

- ・ 人権問題について知らないという人が多いのではないだろうか。学校教育でも取り上げられているのに、大人になって学習したことを忘れている人も多いのではないか。それぞれの年代に合った学習を続けて、人権について学ぶのが当たり前という世の中にしていくことが大切だと思う。
- ・ 子どもの吸収力は無限大で、人権問題は子どものうちから実際に関わって触れ合うことで問題を自発的に考えることができたり、理解力が養われるのではないかと思います。  
特に学校教育では教師による影響が大きいと思いますので、質の高い教師を育成することも大事だと思います。また、あらゆる職業の事業主が率先して社員教育に取り組む活動も大事なのではないかと思います。
- ・ 差別を感じている色々な立場の人の意見や体験を直接知る機会は、社会人にはあまりないので、小学一年生から大学生まで学年に見合った内容を授業に取り入れながら人権に関する意識を深めていくことが大切だと思う。私の青春時代（約50年前）に比べると社会の人権意識はかなり高くなっているが、全ての人が暮らしやすい社会を築いていく対策はいつの時代も必要だと思う。
- ・ 人権問題と聞かれると難しく考えてしまう。もっと違う分かりやすい言い方があると、人権問題について考えやすくなるかもしれない。
- ・ 心の奥底にある他者への差別意識を取り除くのはとても難しいことだと思います。そのような意識が芽生える前、幼い時からの教育はとても大事だと思います。宮崎県だけでなく世界中に平等が行き渡ってほしいと思いますがなかなかで…。
- ・ 人権問題には、環境整備など、いろいろありますが、相手に対する思いやりの教育を小さい時から十分に教えることが基本だと思います。
- ・ 様々な立場で生活されている方々が多くいる現代で人と違う事を互いに認め合える社会を作る事が必要だと思う。  
それぞれの人権について正しい知識を知れる機会を多くする事で幼少期のときから自分と違う多くの方々の考え方に触れる事で人間形成に大きく作用するのでないか。
- ・ 人権に関する講習会等を地域で催すことは大切ですが、地域では健康や運動、文化など様々な生涯学習が行われていますので、そうした機会に10分でも人権についての情報や考える時間を設けてもらえると、身近な啓発運動として効果が期待できると考えます。

- ・ 学校や職場、地域社会などでさまざまな人権に関する取り組みがなされているが、個人一人一人の人権意識の高揚や変革までには至っていない現状がある。  
これまでの取り組みを見直し、もっと実効的な実践方法をみんなで議論する必要があるのかもしれない。

## 1.1 行政施策に関すること

- ・ 人権が侵害された時に、どこに相談していいかわからない。気軽に相談できる体制を整えてほしい。
- ・ 性別や人権など本人ではどうしようもないことで我慢することなく生きていける社会になっていくように、救済する場や制度の充実をはかって欲しい。
- ・ 人権問題では当事者でないとわかりづらいし、個々人の考え方も千差万別である。その個々人の考え方の尊重も人権尊重の基本と思う。対応の根幹は、①相談体制を確立する事、②事案が発生した場合への対応（救済・支援）を確立する事、③そして①及び②を周知徹底することが肝要かと思います。

## 1.2 意識調査への意見・感想

- ・ この調査票をするまで、人権問題について、そこまで意識することがなかったが、まずは、自分の周りにいる人と接する時は、尊重する姿勢で接していきたいです。
- ・ 今回人権に対するアンケートを記入するにあたって意識の低さを痛感した。人権に関する教育、支援の充実の必要性を感じる。日頃より関心を持って行きたいと思う。
- ・ このアンケートも、あまりにもアバウトすぎて、質問に対してのとまどいも感じました。各質問に対して、県がどのようにとらえ、総合的にどうまとめられ、今後を進めていかれるのか。専門的な方々も交えて、検討、解答、参考に進められることを望みます。
- ・ 今回のアンケートに代表されるように、送り手が求めている答えを察することができるアンケートは果たして意味があるのかと疑問に思っています。  
今回の場合、誰が答えるにしても、「差別はいけない」という、世間一般的に良い答えを選ばざるを得ないかなと正直思っていました。堂々と差別する人がいないように、影で差別意識がある人がこのアンケートで、他人の人権を尊重していないとは答えないでしょう。3,000人分の取り繕ったデータで、人権への意識が高いという結果は得られると思いますが、何の成果にもならないと思います。



意識を調査するならば、こうした一般的に悪いよねという選択肢で埋め尽くすのではなく、例えば状況設定をした上で、あなたならどうするかといった旨のもので、裏に潜む差別意識を調査するなどしてほしいです。

- ・ 設問の趣旨がよく分からない。「人権上問題があると思うのはどのようなことですか」と抽象的なケースを設定して意識を聞くことで、何を把握しようとしているのか。回答の選択肢も、現状認識を聞くものと、こういう場合があったら問題かと抽象的に聞くものと混在していると思われる。問題があると回答した人が多い場合でも、宮崎県内で実際に人権侵害が起こっているということには直結せず、どのように施策に反映できるのか疑問である。

回答の選択肢が、私人間の問題に偏り過ぎている。本来、人権侵害は国や公権力によって引き起こされるものであるとの本質が理解されておらず、「人権」のワードが多用されている割に、国や公権力による人権侵害の場面の提示がとても少ない。